

2024年4月3日(水)第一水曜祈祷会

出エジプト記2章1～25節

「拒まれたモーセと神の時」

【出エジプト記1章のあらすじ】 *モーセが生まれる前のイスラエルの状況

* 神の民イスラエルは、大いなる主の御業を体験する前に、まず苦しまなければならなかった。

【観察と黙想】 *モーセ誕生から80年間で記される

1. モーセの誕生と神の守り(2章1～10節) *モーセは危機的状況の下で生まれた

①生まれたばかりのモーセが死なずに済んだのは、何が理由でしたか(ヘブル11:23)。

→

②ナイル川の葦の茂みに置かれたモーセは、どのように助けられましたか。

→

③神は、モーセの姉、ファラオの娘、モーセの母を用いて、モーセをどのように導かれましたか。

→

2. 同胞意識の目覚め(2章11～15節) *モーセが40歳を迎えた時のこと

①モーセは同胞のイスラエル人の苦役を見て、どのように思いましたか(使徒の働き7:23)。

→

②モーセがエジプト人を打ち殺したのは、計画的に行った行為ですか。

→

③モーセはなぜファラオのもとから逃れ、ミディアンの地に行ったのですか。

→

3. ミディアンでの定住と結婚(2章16～22節) *ミディアンで羊飼いと40年訓練を受ける

①モーセはミディアンの祭司たちの娘をどうして助けたのですか。

→

②モーセは娘たちの父レウエルと出会って、何を得ましたか。

→

4. エジプトで続く民の苦しみ、みわざを始める神(2章23～25節) *思い起こされた＝覚える

①イスラエルの子らの叫びは、どうして神に届いたのですか。

→

②神はご自分の民との契約を忘れることがありますか。

→

【適用と分かち合い】